

私立大学図書館協会東地区部会研究部
2018年度第7回運営委員会議事録

日 時：2018年12月14日（金） 15：00～17：00

会 場：早稲田大学中央図書館 1階大会議室

出席者：平井久美子（東海大学）、山田和宏（創価大学）、花上真一（聖心女子大学）、
松尾亜子（早稲田大学）、浅尾千夏子（慶應義塾大学）、青木みちる（学習院大学）、
武林輝暁（玉川大学）、佐々木俊介（桜美林大学）

【事務局】新井和之、吉田博貴（成城大学）

オブザーバー：小野口直喜（玉川大学）

議事概要：

1. 2018年度研究会（交流会）アンケート結果について

資料1に基づき、2018年度研究会（交流会）のアンケート結果について確認を行った。分科会の報告は概ね良好であったことと、講演は内容が濃かった反面、時間をかけてじっくり聞きたかったとの意見も複数見られたことが報告された。

2. 2018年度研究部予算の執行状況について

資料2に基づき、東地区部会研究部の今年度予算の執行状況について、各項目の特記事項の説明があり、この中間決算報告を1月に行われる役員会に提出することが報告された。

3. 2019年度研究部活動計画（案）について

資料3に基づき、活動計画の各項目について説明があった。基本的には例年通りだが、研究分科会報告大会については活動中の分科会が3つと少ないことから、開催方法を再検討する必要があることが確認され、了承された。

4. 2019年度研究部予算（案）について

資料4に基づき、次年度の予算案について、各項目の算出根拠を中心に説明があった。意見交換の結果、研究講演会と報告大会の予算を一部修正し、1月の役員会に運営委員会案として提出することになった。

5. 次期研究部運営委員について

資料5に基づき、次期運営委員会の全ての委員が確定したことが報告された。

6. 2019年度研修分科会会員募集について

資料6に基づき、研修分科会についてはその必要性に鑑み、次年度も継続することとし、例年通り締め切りを2回設定して募集を行うことが提案された。また、近年会員数が減少していることから、助成金だけでは予算が十分に確保できないため、年会費の値上げについても提案があり、いずれも了承された。

7. 2019年度研究講演会について

資料7に基づき、次年度の研究講演会について意見交換を行った。その結果、会場校へのアクセス等を考慮し、講演を従来の2本から1本に集中させる方向で調整することになった。引き続き事務局が講演予定者と打ち合わせを行い、結果をメールで共有することが確認された。

8. 2019年度研修会（首都圏開催）について

次回の研修委員会で、研修会の会場や開催日程、テーマの方向性が確定となる予定であることが報告された。なお、委員から首都圏研修と地域研修のサイクル変更について質問があり、委員の任期中（2年間）に地域研修の企画から運営までを担当できるようにする意図であることが再度確認された。

9. 2019年度オンデマンド研修について

資料8に基づき、図書コースと雑誌コースの仕様書案の確認を行った。次回からは修了証の発行に一定の習熟度を定めるなど修正の余地があるため、6月の部会総会後に告知できるよう次期運営委員会にて仕様書の検討を行うことが確認された。

10. レファレンス研究分科会によるアンケートの実施について

資料9に基づき、アンケートの実施について、運営委員会としての意見の取りまとめを行った。検討結果は再度、レファレンス研究分科会へ伝えることとなった。

11. その他

①研究部報告書2018年度の件

資料10に基づき、研究部報告書の掲載内容について説明があった。現在、各講演者に講演要旨の投稿依頼をしており、年度内には取りそろう予定であることが報告された。

②「図書館員のためのHTML・PHP入門、IAAL講習会第3回」の協賛について

資料11に基づき、IAAL主催の講習会について説明があった。IAALからは東地区部会のメーリングリストやホームページによる告知の要望があり、部会長校とも相談の結果、東地区部会の協賛という形で加盟館に周知することとなった旨の報告があった。

最後に、本日の資料等で、字句や文言等の修正が必要な個所については、研究部担当理事校で修正の後、再度メールで発信する事を確認し、閉会した。

以上